The University of Osaka
Institutional Knowledge Archive

Title	中国語母語話者のスタイル切換え
Author(s)	樋下, 綾
Citation	阪大社会言語学研究ノート. 2002, 4, p. 114-130
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/23185
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

『阪大社会言語学研究ノート』第4号（2002年3月）114-130

中国語母語話者のスタイル切換え

樋下　綾

1．調査の概要

1.1. インフォーマント情報

〔表1〕

	出身地	母語	年齢	日本語学習歴／居住歴	来日時期	専門	学年
CA	中国	中国語	29	日本語学校で2年、大学で2年	1993.5	商	M2
SC	スリランカ	シンハラ語	29	日本語学校で2年、大学で2年	1996.4	経営	B4
KF	韓国	韓国語	29	日本語学校で2年、大学で2年	1997.4	観光	B3
JC	大阪府	日本語	24	大阪（大学時代のみ京都）	―	運動科学	M2
JF	京都府	日本語	25	京都（大学3年より現在まで大阪在住）	―	化学	D2

1.2. 談話情報

〔表2〕

	話者	話者間の関係	収録時間	話題の展開
対NNS親	CA―SC	対日本語非母語話者（親）	30分	互いに質問、応答
対NS親	CA―JC	対日本語母語話者（親）	30分	互いに質問、応答
対NNS疎	CA―KF	対日本語非母語話者（疎）	35分	KFが主導権
対NS疎	CA―JF	対日本語母語話者（疎）	28分	JFが質問、CAが答える

2. 結果および考察

2.1. 自称詞

2.1.1. 結果

〔表3〕

	対NNS親	対NS親	対NNS疎	対NS疎
ぼく*1	9	10	6	12
じぶん*2	2	1	1	1

*1 対NS親は、「ぼくたち」一例を含む
*2 「自分で」など、「わたし」に置き換えられない場合については除外した。

(1)　自称詞は、全般的に「ぼく」の使用が多い。

(2)　また、ごく少数であるが、自称詞として「自分」という表現が見られた。

2.1.2. 解釈

(a) 自称詞については、場面による顕著な形式の切換えは見られない。

(b) 自称詞「ぼく」の使用頻度については、スタイル切換えというよりはむしろ各談話の展開が影響を与えているのかもしれない。つまり、最も「ぼく」の使用頻度が低い《対 NNS 疎》では会話の主導権を対話者 KF が握っていたため一人称そのものが使用されにくく、一方頻度の高い《対 NS 疎》では対話者が CA に質問するというように談話が展開されていたため、必然的に一人称の頻度が上がったということが考えられる。

(c) 「私」に代わる自称詞としての「自分」の使用にも顕著な差はないが、対 NS 疎では、「自分」を「ぼく」に言い換えるという例が見られた。(→〔1〕) 「ぼく」のほうが「自分」よりも丁寧度が高いと認識されている可能性がある。

〔1〕

134JF:うんまー 文系と同じでー(うん)中入ったら何をするかわからないってゆー

→135CA:文系ほとんど あのなんてゆーか たとえば<u>自分 ぼくは</u> あの これ マーケティングを専攻しているけどもー(はい) 同じ営業やられるし(はい) てゆーことは多いし あるいは 文学部の人 でも 営業にやらせられる(はい) ほとんど専攻と関係なしで 最初からやる やるけど理系はそーしたらもー絶対 ××× だめーとゆーか(うん)

136JF:でもあれですねー その マーケティングでも中国でできれば いいですねー

137CA:/そーですねー/ 〔対 NS 疎〕

2.2. 対称詞

2.2.1. 結果

〔表 4〕

	対 NNS 親	対 NS 親	対 NNS 疎	対 NS 疎
(名前) さん	6	-	-	1
じぶん	1	-	-	-

(1) 対称詞は、自称詞より使用頻度が低い。

(2) 「あなた」「おまえ」等の形式は全く見られない。しかし、最もカジュアルな場面とされる対 NNS 親《対非母語・親》では、「(名前) ＋さん」という形式が積極的に使用されている。なお、《対 NS 疎》において 1 例見られた「(名前) ＋さん」は、自己紹介の時に相手が名乗った名前を繰り返したものである。

(3) 《対 NNS 親》においては、対称詞として「自分」が 1 例使用されている。

2.2.2. 解釈

(a) 対称詞については、《対 NNS 親》とその他の場面との間に切換えが見られる。

(b) 《対 NNS 親》で見られた二人称の「(名前) さん」という表現は、より親しみを表現する対称詞として使用されている。調査者の観察では日常生活においても、親しい間柄でないかぎり、あえて名前で呼びかけることは少ない。

(c) 対称詞としての「自分」の使用はしばしば関西方言で見られるため、その影響を受けている可能性がある。《対 NNS 親》で使用している点については、方言形式がよりカジュアルな場面で使用されるという意識の表れとも考えられる。(→〔2〕)

〔2〕

249SC:そーそー 会社に入って(うん) なんか貿易関係とか勉強したいなと思った

→250CA:いつも自分もちょとちょと そのくらい えーっとなに 経営とか 会計とか マーケティングとか ちょと自分で勉強したほうが 〔対 NNS 親〕

(d) 1 対 1 の会話では、対称詞を用いる必要がないということが考えられるが、それにもかかわらず対 NNS 親で「～さん」という形式が多く見られるのは、あえて名前で呼びかけることによって親しみを表すというストラテジーであるとも考えられる。

2.3.丁寧体

2.3.1. 結果

〔表 5*1〕

	対 NNS 親 対非母語親	対 NS 親 対母語親	対 NNS 疎 対非母語疎	対 NS 疎 対母語疎
—です*2	25 (9)	81 (36)	93 (46)	62 (16)
—でした*3	1	-	-	1
—ます／ません	7	13	9	10
—ました	3	-	-	-
—だ	1	2	1	1
—だった*4	-	1	-	-
用言基本形*5 (非過去)	76	62	71	66
用言基本形 (過去)	12	20	23	25
φ (体言止め)	41	25	33	24

*1 助詞などを伴った場合も含む。

*2 「名詞＋です」／「用言＋んです」を対象とする。うち、あいづち等の「そうです (よ/ね)」の数は ( ) 内に示した。

*3 用例は、《対 NNS 親》における「すみませんでした」および、《対 NS 疎》における「全然だめでした」という 2 例のみ。

*4 対象としては、名詞＋だった／ナ形容詞＋だったを想定していたが、実際に出てきた用例は《対 NNS 疎》の「植民地だったよ」の 1 例のみ。

*5 —たい (—たかった) ／ほしい (ほしかった) ／—ない (—なかった) を含む。

(1) 全般的に丁寧形の使用頻度は低いが、特に「－でした」「－ました」「－だった」などの過去を表す形式は極端に使用頻度が低い。

(2) 《対 NNS 親》においては「－です」の使用頻度が低い。

(3) 特に対話者と初対面であった《対 NNS 疎》では、使用された「－ます」形式の約半数（5 例）が前半 5 分以内（全談話の 1/6 以内）に集中している。一方「－です」形式は談話の進行に伴う使用頻度の差は特に見られない。

2.3.2. 解釈

(a) 丁寧体と非丁寧体の切換えについては、唯一《対 NNS 親》において「－です」の使用が少ないという点に見られる。最もカジュアルな《対 NNS 親》において「－です」の使用が避けられるのは、「－です」という形式が体言止めや基本形より丁寧な形式として認識されているからだと言える。一方、一見いずれの談話においても有意差は見られない「－ます」形式についても、(3) で述べたようにフォーマル度の高い場面で優先的に使用されることを考えると、やはり「－ます」形式も他の形式より丁寧度が高いことは認識されているようである。

(b) さらに、談話の進行に伴い、「－ます」形式が減少し、一方「－です」形式の使用頻度にあまり変化がみられないことを考えると、丁寧形式としての注意度は、「－ます」形式＞「－です」形式あると言える。

(c) また、「－です」についてはそのほとんどが「よ」「よね」「か」などの終助詞と共起していることを考慮に入れると、その使用はスタイル差によるというより、対話者によって頻度が異なりうるモダリティ表現に伴う、より形式的な切換えが優先されている可能性もある。(→§2.6.終助詞参照)

(d) 単純に丁寧体と非丁寧体を比較した場合、過去形においては極端に丁寧体が避けられているという傾向が見える。このことを考慮すると、過去形における丁寧－非丁寧という対立が、実際にその意味を保持しているかは疑問である。つまり、特に過去形においては、丁寧－非丁寧という語形変化は丁寧度の違いによって選択されるというよりも、それぞれの語彙、あるいはテンスに付随する形式として個別的、定型的にとらえられているのかもしれない。

〔3〕

60JF:よく帰られます　中国は

→61CA:年に 1 回くらい帰って　うん　あの一＃普通は　2･3週間くらいですけど　2 年前は　ぼくは　2 ヶ月国に　いってた　うん　母と一緒に　あの＃中国全土というか〔笑い〕　あちこち旅に行ったよ＃たまに　中国旅するのは　非常に/いい/ですよ　〔対 NS 疎〕

2.4. 原因・理由

2.4.1. 結果

〔表 6〕

	対 NNS 親	対 NS 親	対 NNS 疎	対 NS 疎
丁寧＋から	-	2	6	2
非丁寧＋から	10	5	14	4
だから	8	5	7	7

(1) 「—ので」形式は談話中に一切見られない。

(2) 「丁寧＋から」については、《対 NNS 親》では使用がみとめられない。

2.3.2. 解釈

(a) 場面ごとに解釈すると、《対 NNS 親》では「丁寧＋から」の使用が全く見られず、すべて「非丁寧＋から」という形式が用いられていることから、他の場面に対する形式的なスタイル切換えが行なわれていると言える。

(b) 「ーから」と比較して「ーので」は制約が多いため、避けられる傾向にあるのかもしれない。「ーから」「ーので」の両形式の間に丁寧度の差は特にないと捉えられている。

(c) 《対 NNS 疎》では他の場面に比べて原因・理由形式の出現が多いが、ここでは互いの意見を聞き合うような形で談話が進んでいったため、話題によるものだと推測される。

(d) ちなみに、「ーから」とともに使用される丁寧形式と非丁寧形式の使い分けについては、付加される要素の品詞が大きく関わっている。《対 NS 親》で「･･･ありますから」という用法が 1 例と、《対 NS 疎》で「･･･政府だから」という用法が出現したものの、それ以外は「から」に名詞が付加される場合、すべて丁寧形式の「ーですから」という形で使用されている。一方名詞以外の要素が「から」に付加される場合はほぼすべてについて非丁寧形式が使用されている。(→〔4〕〔5〕) したがって、丁寧ー非丁寧の切換えというよりも形式的な切換えが優先されている可能性があるが、《対 NNS 親》で「名詞です＋から」や「名詞だ＋から」が見られないため、判断を保留する。

〔4〕

198KF:あー とりあえずあのー 独立し する気があるかどーかが(そーでしょ) ですね あの沖縄は 別に独しようとしてないし 別に自分はもう日本人で

→199CA:独立したらマイナス面多いから(うーん)とゆーところ あ チベットの場合は 独立したらしようとしたら(はい) よくなるかもしれない (あー) ほとんど 中国人の考え方(あー)もーマイナス

面非常に多いから(あー) 周りは全部陸地ですから(はい) 交差的とか(あーそーか) うんそゆ面もあるし 〔対 NNS 疎〕

〔5〕

007SF:まだまだ×××勉強しないとけないね 漢字が難しいから

→008CA:あー やっぱり#その点から中国人はまだ楽だから あのちょっと(うん)知ってますよねー

〔対 NNS 親〕

2.5. 逆接

2.5.1. 結果

〔表 7〕 *1

	対 NNS 親	対 NS 親	対 NNS 疎	対 NS 疎
—ても	-	2	1	1
—けども	-	-	2	2
—けど	2 (2)	6 (4)	13 (4)	18 (7)
—が	-	1 (1)	1	-
でも	6	1	7	5
だけど	-	-	1	-

*1 ( ) 内は全使用数のうち、特に文末で使用されたもの（言いさし表現）の数を示す。

(1) 接続助詞「—のに」「—けれども」「—けれど」、および接続詞「けれども」「ところで」は一切使用されておらず、使用する形式とそうでないものが顕著に表れている。

(2) フォーマルな場面になるほど、言いさし表現の使用頻度が増える。

2.5.2. 解釈

(a) 接続（助）詞としての用法では、疎の場面になるほど言いさし表現「ーけど」という文末形式が増加する。したがって、言いさし表現の形式としては場面間で切換えがあると言える。つまり、「ーけど」という婉曲的な表現で断定を避けることによって、より配慮された談話の展開を目指していたと考えられる。

(b) 言いさし表現以外の「ーけど」という形式についても、《対 NNS 疎》で使用頻度が高くなっていることからスタイル切換えに関与している可能性があるが、明確な根拠は見つからない。談話の構造的な視点から見ると、《対 NNS 親》では単発的な話題をつなげて会話が進んでおり、一方特に対 NS 疎は一つの話題を発展させていくという談話展開で、意見陳述的な内容の会話が多かったため、文中で逆接の接続（助）詞の使用が多くなったとも考えられる。

(c) 「—けど」が 1 例を除いて普通体とともに用いられているのに対し、「—が」という形式は、「すごく上手ですが」《対 NS 親》、「あまりないですが」《対 NNS 疎》という

ように常に丁寧形式とともに使用されている。つまり逆接の接続助詞「—が」と「—けど」の使い分けについては、丁寧－非丁寧という形式に伴い、必然的に切換えられている可能性がある。

(d) また、言いさし表現以外の「—けど」という形式の多くが普通体とともに用いられるにもかかわらず《対NNS疎》での使用頻度が高いことを考えると、丁寧－非丁寧という切換えよりも文体的な形式の切換えが優先されて行なわれているという可能性がある。

2.6. 終助詞

2.6.1. 結果

〔表8〕

	対NNS親	対NS親	対NNS疎	対NS疎
よ	10	19	18	14
ね*	18	12	8	12
よね	4	1	7	7
か	6	13	11	8
の	3	1	-	-
な	3	3	-	1
かな	-	3	-	7

*あいづちであると思われる「そうですね」は含まない。

(1) 丁寧形式「—です」を上昇イントネーションで疑問形にするのは一般的に非文とされるため、「か」についてはすべての場合に丁寧形と共起している。

(2) 終助詞「か」を用いない場合は、上昇イントネーションによって質問を行なっていた。

(3) 詠嘆を表す終助詞「な」については親の場面において使用されやすい。イ形容詞に伴われる場合は「すごいな」のようにそのまま基本形に付加されるが、ナ形容詞に付加される場合は、「大変やな」「心配やな」など、方言形式「や」と共起する場合が多い。(§2.8.参照)

(4) 疑問の終助詞「の」は親の場面でのみしか使用されていない。

2.6.2. 解釈

(a) 使用頻度の高い終助詞では、全体的にスタイル切換えへの関与は薄いと思われるが、疑問の終助詞「か」と「の」や詠嘆などを表す「な」については場面によるスタイルの切換えが見られる。

(b) 聞き手が知っていると思われることについて確認する時に用いられる「ね」は、《対NNS親》で最も多く使用されており、《対NNS疎》で最も少ない。「ね」の使用は話

題にも影響を受けるが、互いに既知情報の多い親しい間柄で用いられやすいとも考えられる。

(c) 全体的な傾向として、終助詞「よ・ね・よね」は丁寧体に付加される場合が多く、特に「よね」はほとんどすべての場合において丁寧体に付加されている。そのために疎の場面で出現しやすいのかもしれない。

(d) また、「よね」は「ね」とほとんどの場合置き換え可能であるにもかかわらず、親の場面において使用頻度が少ないのは、「ね」より「よね」のほうが自分の意見や記憶を相手に確かめるという意味が強く、相手により配慮の必要な疎の場面で出現しやすかったという可能性が考えられる。(→〔6〕〔7〕)

〔6〕

136KF:統一してほしい↑ あー

→137CA:でも今の現在の 政府あるいはあの政策は 統一しても台湾にはよくないですよね

〔対 NNS 疎〕

〔7〕

→177CA:/そーですね—/ としよりも めちゃくちゃ[笑い] 尊敬しないと(そーですねー)＃＃＃最近もちょと いわゆる昔に 日本でも 今でも かくか 核家庭↑(はい)うん そゆでてきてたらもーあんまり ですよねー＃昔はー 大家族で あのー つまり兄弟(はい)とか結婚ししても親と一緒に(はい)住んでて うーん多かったけど 最近はもーだんだん離れて＃もー日本のユッテ—はお盆とか(はい)そゆー(はい) 大型休みとかみんな×××　それしかできない あーつは 絶対しんせつとゆーところですよね しんせつ[春節]

178JF:しんせつ

→179CA:日本では 日本の元旦(あー)みたい 日本では元旦ですよね

180JF:向こう2月ですね

〔対 NS 疎〕

(e) (3) で示したとおり、終助詞「な」は方言形式と共起しやすく、親の場面で特に用いられている。このことから、方言形式とともに終助詞「な」も丁寧度が低いと認識されているようである。

(f) 親の場面では疑問の終助詞として「の」が出現しており、この形式が基本形としか共起しないことを考えると、やはり丁寧度の低い形式として認識されているといる。

2.7. 引用表現

2.7.1. 結果

〔表 9〕

	対 NNS 親	対 NS 親	対 NNS 疎	対 NS 疎
—ていう	-	-	-	1
—ていうか	-	1	-	1
—という	2	5	14	7
—というか	2	5	4	15

(1) 引用形式としては「—ていう（か)」よりも「ーという（か)」のほうを多く使用している。

(2) 特に文末で使用されやすい「ーて（と）いうか」については、対 NS 疎《対母語疎》で最も高い頻度を示している。

(3) 「ーて（と）いう」については、通常名詞を修飾する場合（→〔8〕下線部）に多く使用されるが、CA の場合、文末での使用も多い。(→〔8〕破線部)

〔8〕

→147CA:一部ですよ ふーん(うん) い い ー国二制度とゆー政策ですけど

148KF:え↑ どーゆー

→149CA:あのー ーつの国 二つの 制度ー 政治(あー) そゆ 今のし え資本主義の制度のままで うん(そっか)続けていくとゆー

150KF:自治体みたいですね あのーそのー (えー)ま東京都とかー 関西とか その

→151CA:まだーちょっとちゃうですねー ま まって 独立した あの政治(あ) とゆー うん

152KF:じゃ税金とかですねー 〔対 NNS 疎〕

2.7.2. 解釈

(a) 文末で「—という」という形を使用するのは、おそらく CA の口癖のようなものだと思われるが、明確な言及を避けるために使用される「—ていうか（—というか)」の頻度には、場面によって差が現れた。対 NS 疎《対母語・疎》では、明確な言及を避け、対話者に判断や確認を促すという配慮のために「—というか」が多用されたと思われる。

(b) 最近日本の若者の間で「—ていうか」をはじめとして「ーけど」(→本ノート『東京下町方言話者のスタイル切換え』参照）や「ーし」など、断定を避ける婉曲的な文末形式がよく用いられている。CA もこの影響を受けている可能性がある。

2.8. 方言形式「ーや」

2.8.1. 結果

〔表 10〕

	対 NNS 親	対 NS 親	対 NNS 疎	対 NS 疎
ーや	6	3	1	-

(1) CA は 7 年以上も関西地方で生活しており、談話の中にも関西方言形式と見られるものが現れている。

(2) 関西方言形式の「ーや」は一般的に、文末の「ーだ」や「ーだろう」「ーだから」の「だ」に代わって使用されることが多いが、CA も《対 NNS 親》で多く使用している。

(3) ほかに見られた方言形式としては「ゆうたら（＝言ったら)」「ちゃう（＝違う)」が頻繁に現れたが、CA の中で方言形式という意識はなく、特に「ちゃう」は既に形容詞化して定着しており、「ちゃうです」「ちゃうかった」などと活用して使用されている。(→〔9〕)

〔9〕

149CA:あの一 一つの国 二つの 制度一 政治(あー) そゆ 今のし え資本主義の制度のままで
うん(そっか)続けていくとゆー

150KF:自治体みたいですね あの一その一 (えー)ま東京都とかー 関西とか その

→151CA:まだーちょっとちゃうですねー ま まって 独立したあの政治(あ)とゆーうん

152KF:じゃ税金とかですねー 〔対 NNS 疎〕

(4) また、対 NNS 親では以下のような方言形式も見られた。(→〔10〕) 日本語母語の対話者が、親・疎ともに関西生え抜きであり、談話中にしばしば関西方言が現れるのにもかかわらず、CA は方言形式をあまり使用していない。ちなみに SC《非母語・親》や KF《非母語・疎》は方言形式をほとんど用いていない。

〔10〕

135SC:一応いるけどゆって どーゆーこと↑{笑い}({笑い}) 遊んでくれないの↑

→136CA:{笑い}何いっとんねん 〔対 NNS 親〕

(5) 2.6.終助詞で述べたとおり、イ形容詞以外の要素の終助詞「な」が付加される場合には「だ」は使用されにくく、代わりに「や」が用いられる。

(6) 《対 NNS 親》では「ーやな」という形式以外にも、さまざまなバリエーションが見られた。(→〔11〕・〔12〕)

〔11〕

→158CA:/でも/ でも 今日は SF さんは遊びすぎやー かえってストレスたまるよー {笑い}({笑い})

バイト休みやし　勉強も/してないし/

159SC:/でも/毎日そんなことするわけないんですよね　〔対 NNS 親〕

〔12〕

298CA:そーですねー#あと　×××でもいーと思う　あこれ中国語でなんと言いますか　よく聞いたらみんな知ってる(あー)　教えてくれる　ぼくは日本語勉強するのはちょと#ちょと#なんといーますか　感じてたのは　自分が日本語　しゃべってる　間違っても　あの日本人　日本人は笑って　あー上手　お上手(あー)と言われてですよねー#それは　すごく感謝ですけどー([笑い])　ありがたいけどー　まー/なお/

299JC:/なおるか/どーかは/別やからねー

→300CA:/おーそーですねー/　やはり　ついそのうちに　ぼくはほんとに上手やと[笑い]思ってしまった　〔対 NS 親〕

2.8.2. 解釈

(a) 特に《対 NNS 親》において方言形式が最も多く用いられているのは、方言形式が親しい友人との間で使用するものだと認識されているからだと考えられる。したがって、場面によってスタイルを切換えていると言える。たとえば、「名詞+やし…」という形式は《対 NNS 親》でのみ２例使用されている。

〔13〕

053SC:でも一応　×××ってゆーか　前は一　まだ大学院いくつもりだったけどね(あー)　でもも一まだまだ長くなるとゆーことでー　/今年/

→054CA:/年/も年やしね

055SC:年じゃない([笑い])

(b) その一方で、文中で「や」が使用されているところには「だ」が共起しにくい傾向がある。つまり、談話例〔13〕のような「名詞+やし…」という形式は、「名詞+だし」という形式では一切使用されず、他の場面ではこの形式そのものが使用されていない。

(c) また、「やろう」という形式も、「でしょう」という形式は見られるものの、「だろう」という形式はどの場面でも見られず、《対 NNS 疎》では「やろう」と「でしょう」が混在している。つまり、CA の中では潜在的に「だ」が「や」に置き換わっている可能性がある。(→〔14〕〔15〕)

〔14〕

090KF:/えー/とか　いってるんですねー　わけわからないこといってるんです([笑い])#それー　よくないと思いますよ　だから　あのー　された方ですね　した方じゃなくてされた方は一　かなりそれ　受けてるからー　この前もあの　3日前も　あのなんてゆーんですか　37歳の人が(あ)子ども殺したでしょ↑(そーです)はい

→091CA:さい　さいてーやろ↑　〔対 NNS 疎〕

〔15〕

246KF:その あそっか 7年 長いですね

→247CA:あーだから たぶん 向こうもめちゃくちゃ変わってきたでしょう ぼく最初 いたときと(あ)変わってる(え) よく帰ってくるけど まーそれは表面 のものしか見え 見えない(あーそーですね) いったい内部はどう変わっていってるか わからない 企業はどーゆー ふーに(うん) も一出る前に ほんとにもー ほとんど国営企業ですよ(あー)向こう でも最近は 私営企業は(あー)どんどん 〔対 NNS 疎〕

3. まとめ

(a) 切換えの基準としては年齢というよりも、やはり親・疎関係が強く影響を与えていると思われる。また、疎の非母語話者《対 NNS 疎》と日本語母語話者《対 NS 疎》を比較した場合、対日本語母語話者の場面のほうが、フォーマル度がより高くとらえられている。

(b) また、中国語母語話者特有の現象としては、母語の影響により、動詞や形容詞を活用させることによって丁寧／非丁寧の切換えを行なうよりも、方言形式や婉曲的な表現の使用など、語彙そのものを切換えたり、助詞などの要素を付加して切換えるほうが、負担が少ないということが考えられる。

(c) さらに中国語母語話者の場合、本来共起しうる2つ（またはそれ以上）の形式の切換えの多くは、スタイルの切換えに付随して行なわれるというよりはむしろ何らかの形式的な条件に制約を受ける場合が多い。特に「丁寧」形式とされる「－です」や「－ます」は、その時制や付加される助詞に影響を受けて選択される場合が多く、本来の「丁寧」という意味はそれほど強く保持されていないことが考えられる。

(d) フォローアップ・インタビューの結果、CA は会話中に対話者が方言話者であるかどうかの判断はしていないことがわかった。つまり CA 自身が方言形式を用いるのは、対話者のスタイルとは関わらず、自分自身との親疎関係に影響を受けており、さらに方言形式はカジュアルであるという認識がある。

(e) 非母語話者の場合、ある2つの形式に待遇的な違いがあることは知っていても、それを実際に使用するか（できるか）という点を考慮しなければならない。フォローアップ・インタビューで明らかになったことだが、CA は例えば「－です」や「－ます」形式がその他の形式よりも丁寧度が高いことは認識している。しかし実際の使用になると、特に動詞については基本形の使用頻度が高くなる。このことは、基本形あるいは辞書形として習得した動詞の形式が丁寧に対する非丁寧というよりはむしろ「基本」として中立的に捉えられている可能性がある。

(f) また、日本語を学習する際、まず「－です」や「－ます」などの丁寧形が先行して導入されるため、むしろカジュアルな場面においてモニターをかけなければ非丁寧形

式が使用できないという、母語話者とは逆の操作が為されている可能性が見られる。

(g) 全体的に、CA のスタイル切換えは、文体的な切換えと形式的な制約とのせめぎあいの中で行なわれているといえる。しかし全体的に形式的な切換えが先行しているという感があり、それを言い回しやターンのとり方などでフォローしている可能性も充分に考えられる。

4．今後の展望

今回調査の対象とした中国語母語話者は来日８年目であったためか、スタイル切換えというよりも、その他の形式的な制約条件のもとでの使い分けが多く見られた。今回参考としての教師との談話は採取できなかったが、対話者の社会的なステータスとスタイル切換えの関係も興味のあるところである。

また、各談話においては、形式的なスタイルの差はあまり見受けられなかった。しかし、中国語母語話者の場合、母語の影響でいわゆる丁寧―非丁寧というスタイル切換えが形式的に出現しにくいということも考えられ、より語彙的なレベルでスタイル切換えが行なわれている可能性もある。今後研究を進めて行く上では、母語話者としての固定観念や文法規範から外れて談話資料を分析する必要があると思われる。

今回の調査では音声的なレベルでの切換えは視野に入れなかったが、CA は自分の意見を述べたり質問したりする時、特に声の調子を和らげるという傾向が見受けられ、今後は声の強弱やポーズなどについても考慮されるべきであろう。

【談話資料で用いた文字化の記号】

／　／…発話の重なり	□(空白)…呼気
×××…聞き取れなかった発話	#…短いポーズ
@@@…特定の名前や地名	###…長いポーズ
%%%…中国語での発話	―…長音
[　]…補足的な説明	↑…上昇イントネーション
{　}…非言語行動	
(　)…対話者のあいづち	

ひのした　あや（大阪大学大学院生）
aya527@livedoor.com

〔対 NNS 親〕

収録日時：2001 年 10 月 28 日
収録場所：CA の寮の一室
話題：日本語の勉強→大学生活と就職→余暇→仕事と将来

046CA：そいえば　今年はよ　よ　4 年
047SC：今　今年 4 回生
048CA：あ　今年＃来年の 4 月から/4 年生/
049SC：/そーです/いや　今年 4 回生　でもー来年の 4 月　そつ（あ）卒業
050CA：将来はどう
051SC：だからー　大学院　一応考えてるけどでもその前就職　したいなーと思ってる　/就職/
052CA：/今/　まだそれを考えてるの　迷ってる
053SC：でも一応　×××ってゆーか　前はーまだ大学院いくつもりだったけどね（あー）　でも　もーまだまだ長くなるとゆーことでー　/今年/
054CA：/年/も年やしね
055SC：年じゃない
056CA：{笑い}えっと　日本で就職するの↑
057SC：できれば　しばらくしたい
058CA：え　それその理由はなんですか↑
059SC：あの経験のため
060CA：あ　やっぱり　勉強だけ　じゃ
061SC：そーですね　で自分でー　こういって日本と関係がある貿易　会社で勤めたい　やっぱり日本の会社の経験×××
062CA：え　そーいえばあのー　むこうでは日本の企業は進出しましたか↑
063SC：あ　今はだんだん（あ）　入ってきてますねー×××で　CA さんは将来の目的は
064CA：ぼくもー　まず日本で就職して　それからまた考えます　やっぱり国に帰りたい気持ちは　あるから　いつか帰る
065SC：で　どーゆー仕事
066CA：仕事　やっぱりちょっとー　しょう勉強したいことは多いから＃それとまずコンピューター　さっき　SC さん言ってたのは　そゆ　そゆー　インターネット関係のもの　勉強したりとか　それから貿易とか　それは自分のもー今　専攻はそ　関わってるから（うん）　だからそれを（うん）　もー現実ではどーなってるか　勉強してみたい　この目で見て　感じたい　それから　それを活かして　中国で何か
067SC：自分でー
068CA：自分でー　あるいは　むこうでいいいい会社見つかったら（あー）　就職して　これは×××　だから今一生懸命　就職活動やってる
069SC：やってますか（うん）　どうですか最近
070CA：めちゃくちゃ悪い　ダメ　ダメ（そーですか）うん
071SC：わたしもー　何度かやってたけどー
072CA：え　それいつ頃↑
073SC：ちょっと　あのー　今年のー　今年入って　はい　4 年目に入ってから（うん）　大学が今　紹介してくれるのがあるんです（あ）　大学の紹介で　×××やってたんですけどー
074CA：今年の一春から（そーですねー）　ちょっとだけやってたー
075SC：そーですねー　だからあの　やってててんでー　気が変わったんですよ　就職活動やってて　やっぱり院行って　直接自分の　あの一目標に向かって　×××するかーとゆーこと　考えたから一応やめて
076CA：あー　これまだぼくと全く/一緒/
077SC：/あんまり/　無理しないで　できれば簡単に就職できればしたかったですね
078CA：それはやっぱり甘い　甘すぎる
079SC：甘すぎる{笑い}　あー/そーですか/
080CA：/×××/じゃない　だからー　一生懸命やらないと　簡単に就職見つからない
081SC：そーですねー　最近
082CA：しみじみに感じてた
083SC：そーですかー今バイトとかしてます↑
084CA：あんまりしてない（そう）うん　修士論文大変です　あとー修飾関係やらないと

〔対 NS 親〕

収録日時：2001年2月13日
収録場所：CAの寮の一室
話題：専攻・研究の話→料理の話→JCの中国語学習について→最近の若い人の遊び

288CA：そー＃やっぱり　中国語を勉強するよくしゃべることですねー（{笑い}）うち　アルバイトのー　前のアルバイト先のー（うん）　あのー　あのおばさんは　もー会うた　たびに中国語でしゃべって
289JC：会うたびに中国語
290CA：うんうん　積極的に　むちゃくちゃあのー　積極的よー＃最初　自分は台湾の出身　とゆーたよ（ほー）うそついた　（{笑い}）　ぼく信じてたよーちょと中国語変だな　あー　台湾の
291JC：{笑い}×××
292CA：結局＃日本人/ですねー/
293JC：/日本人/なんやー＃そっかー（うん）　えー積極的にここでもしゃべろうかなーと思うけどしゃべるほどレパートリーがないしなー{笑い}
294CA：いやー　しゃべったらみんな（うーん）応じてくれる　漢字でも　自然に　ゆっくり　とか（うーん）　しゃべってくれるし
295JC：一回留学行って　帰ってきたらまた
296CA：また　そーですねー＃やっぱり最初簡単なことばだけだったら＃あの　街に歩いても　だれでもしゃべるぐらい　%%[你好：こんにちは」　%%[謝謝：ありがとう]とか　もっと　うん
297JC：もっとねー（うん　そー）　最初さー留学生会館来たらさー（うん）　%%　%%　%%%%とか（あー）　そうゆーことばって最初に全部ゆっちゃうからー（あー）　それ以上なると　やっぱりかなり　レベル上がってからじゃないとしゃべられへんからねー
298CA：そーですねー＃あと　×××でもいーと思う　あこれ中国語でなんと言いますか　よく聞いたらみんな知ってる（あー）　教えてくれる＃＃＃ぼくは日本語勉強するのはちょと＃ちょと＃なんといーますか　感じてたのは　自分が日本語　しゃべってる　間違っても　あの日本人　日本人は笑って　あー上手　お上手（あー）と言われてですよねー＃それは　すごく感謝ですけどー（{笑い}）　ありがたいけどー　まー/なお/
299JC：/なおるか/どーかは/別やからねー/
230CA：/おーそーですねー/　やはり　ついそのうちに　ぼくはほんとに上手やと｛笑い｝思ってしまった
231JC：｛笑い｝日本人のやさしさとねー（うんそーですねー）　いわゆる裏表ですわなー（そう）　語学/ねー/
232CA：/この/点では中国人ちょとちゃう　もしちょとあの
233JC：ちょと違うかったらすぐ直す
234CA：うん　すぐ/直します/
235JC：/すぐ直すねー/
236CA：もー　/こ/
237JC：/みな/先生　みな%%や[先生]{笑い}
238CA：そー　きつい場合もある（うーん）　やめるとゆー
239JC：ちょとねー
240CA：あー　そー　ちょときつい＃かもしれない（うーん）でも勉強
241JC：勉強や思えばね
242CA：やっぱりそーじゃないとね
243JC：あとー　ここ生活してるやん　自分で（あ　そー）　いっつもその　勉強モードに入ってるわけじゃないじゃない{笑い}（あーそー）普通に生活してる場合があるからね　自分の中で
244CA：カラオケ好きですか↑
245JC：カラオケは一最近行かないけど　うん
246CA：前はよくー　あの　あの　この会館の人と（あー）　あカラオケ行って　必ず中国語の歌　ほぼ 80 パーセントぐらい（ふーん）　中国語の歌　それ（×××）の場合はいっしょに　（あー）行ったら勉強になる　でしょ

〔対 NNS 疎〕

収録日時：2001 年 6 月 10 日
収録場所：CA の寮の一室
話題：自己紹介→中国の治安の話→オリンピックの話→中国と韓国の経済→歴史→独立問題→景気

048KF：/あのー/　聞いた話によると　ちょと治安はー
049CA：治安は　日本　よりずいぶん　うん悪いけど　うん　まー＃つまりあの中国行ったら自分の身は自分で守るということですよねー
050KF：あーん　そっか　夜はちょと
051CA：ちょと危ない
052KF：特に危ない/ですね/
053CA：/うんそーですね/　うん＃少し　でもあの　現地は　あの　知り合いあったら　絶対大丈夫
054KF：知り合いいたら（うん　うん）それはですねー　あのー　治安はちょっと気になってるからー（あー）　一人旅は　避けたほうがいいと　一人旅は避けたほうがいいってゆーか　むこうに知り合いがいないと　ちょと（あー）どうかなと思って
055CA：いちょ僕の友達は去年一人旅　一人旅というか（はい）　一人で　あのむこうに一ヶ月ぐらい留学してた　でであそれは一留学というか　遊学みたいでー（はい）　勉強しながらあちこち（あーん）あそ遊んで　一人　まあ　なかった
056KF：あの友達とか　/できて/
057CA：/うんうん/そう　むこうでできて　（ああ）そー（うーん）　最初は一人で　だんだん　友達できて
058KF：あ　そーいえばあのー　今あのオリンピック
2008 年オリンピックで（うん）あのー今日本の大阪と中国　北京ですか北京とけっこう今あれ　やってるでしょ　どーなると思います↑
059CA：いやー　ぜったい/北京に/{笑い}
060KF：/北京/ {笑い} たぶんあの＃中国になるでしょ/×××/
061CA：/もしあの/×××はなければね（うーん）そーなってほしいな絶対
062KF：なんか＃なると思いますよ
063CA：ありがとございます{笑い}
064KF：中国まだあったことないでしょ　/オリンピック/
065CA：/まだ/（はい）まだ＃そー8 年前も　あの　申し込んだけど（はい）　負けたシドニーに
066KF：あ　シドニーに負けた　あー
067CA：2 票の差で（あそーですか）負けた　（うーん）　だから今度　ぜったい失敗許さない{笑い}×××
068KF：{笑い}　あのー＃もひとつあのおもしろいこと聞いたことあるけど（うん）中国のことで＃あの上海とですね（うん）北京と　仲悪いですか
069CA：/×××/
070KF：/特に/　女の　女の人ー　女の人どーしではですね　けっこうあのー＃派閥とゆーかあるんですね　学校の見ても学校で見ても
071CA：そーですねー＃あ　全体ー的　中国全体的ではあの　北と南　ちょと（はい）分けて　日本　関東と関西みたいな感じで（うん）　あ　いわゆるあの　関東は北京　あの関西は上海（あー）という　というイメージ（うーん）　そーゆー　日本ではそーゆー　ちょとあのー＃北京みたいな（あーん）もの存在して　同じと思います（あ　そっか）　うん　たとえば　あの巨人と阪神ファン×××{笑い}（{笑い}うーん）上海は　あの経済的にー（はい）　全国でトップの地位ですから（あー）　うん　かなり　うん　ま北京は政治的には
072KF：あそっか　上海は経済的に　は発達してるしー（そーです）　あの　北京は政治家　政治家とか（はい）　政治的な面で（そーです）　/×××/
073CA：/文化/　文化とか（あー）　そして　歴史もあるし

〔対 NS 疎〕

収録場所：2001 年 6 月 10 日
収録日時：CA の寮の一室
話題：自己紹介→CA の専門の話→香港の話→留学の話→JF の専門の話→台湾の話→就職の話→儒教の話→CA の故郷の話

001CA：あ　どーも/はじめまして/
002JF：/はじめまして/
003CA：僕[CA の名前]と申します（はい）　漢字でゆったら　@@@　@@@
004JF：あ　そーですか　ぼくーは　あの[JF の名前]と言いまして　書きましょか{紙に名前を書く}これあれですね　苗字で（あ　はい）下は{紙に名前を書く}こう
005CA：これはなんといい
006JF：これ@@@[JF の名前]　@@@です
007CA：@@@/さん/（はい）　はい　わかりました＃えっと　学校は
008JF：今は一　ぼくは一　@@@大学の　@@@部で
009CA：@@@/部/
010JF：/で/　化学をやってます
011CA：おー　え院のほう/ですか/
012JF：/はい/院ですね　はい　今あとー　ドクターコースで今２　２年です
013CA：あー　ドクター２年（はい）　ほー　すごい
014JF：もーあと 1 年半でおしまい　おわり/ですね/
015CA：/ほー/そーですか
016JF：今は何をされていま/すか/
017CA：/ぼくは/@@@（大学名）でー　@@@の大学院でー（はい）あの　マーケティングをやって
018JF：マーケティングって　経済
019CA：商にー近いです　商ですねー　商＃中国語で市場　市場なんといいます　市場（あー）市場＃＃＃なんという＃市場＃なんなんなんという＃運営　運営というか　そーゆーそーゆ
020JF：市場に関する　ことを（うんそーですね）勉強されてる
021CA：まー　中国では　まだ　これは＃あの＃入ったばかりですから
022JF：あ　そーですね　あ　ま　ちゅー中国でも株とかはあるんです/よね/
023CA：/うん/　もちろんあります　うん＃あってー　でも　うん　ま＃もう×××に関する知識は　/まだまだ/　はい少ない
024JF：/×××/
025CA：少ない　だから今　勉強している
026JF：そーですねあの　ですね＃ほん香港とかやったらみんな　もう人とかは入ってきてますね
027CA：あ　そーですね
028JF：＃＃＃みんな行き来してます↑　中国と香港を
029CA：おー　あんまりしてない　あの香港の人は　よくあの大陸に（はい）向かいに（はい）来るけど　本土に（はい）来るけど　あのこっちの人はあまり行けないというか　許可いります　うん　香港　行くために何か　うん　許可もらえないといけない＃ただー　旅ーするたみ　ために経由ならまだ別（はい）ですけど　うん経由　香港経由　そこでちょと　は　一日　それは自由にできるけど＃わざわざ香港に旅行するのはたぶん　許可　いるでしょうね　＃＃＃よく海外に行きま/すか/
030JF：/海外/は　最近はあんまり行ってなくて（あー）あの　行ってないですねー
031CA：あー　前は何
032JF：前は（うん）＃あのー　最近は　あの２３年ほど前にはカナダにちょと　３週間ぐらい行ってきました
033CA：あれ　ことばの勉強↑
034JF：あーそーです　ちょっとことばの勉強（あー）半分遊んで
035CA：あー　そーですねー{笑い}うん　あれは　うんそれは大学ーの関係ですか↑
036JF：それ　関係ないです
037CA：うん　自分で
038JF：そーですね　はい　夏休みにちょっとだけ　３　たった３週間ぐらいで
039CA：えと　向こうの　学校で